



笑顔いっぱい いのちがやけ 花園の子

# 花園

小樽市立花園小学校  
学校だより No. 12  
令和6年2月22日

☎ 25-5233  
Fax 25-5234

## 「持続可能な社会の担い手に」

校長 若林 晋

2月も後半に入り、日差しにも力強さが感じられる季節になってきました。1月末から行われたスキー学習も先日無事終了しました。スキー用具の準備などご協力いただきありがとうございました。

『SDGs』という言葉をよく耳にします。

これは、2015年に国連で採択された「2030年までの達成をめざす17の持続可能な開発目標」のことです。今、世界では、国際機関、政府、企業等、子どもを含めた全ての人によって、それぞれの立場から目標達成のために行動することが求められています。共通するキーワードは「誰ひとり取り残さない」です。具体的な17の目標のうち「4質の高い教育をみんなに」があります。



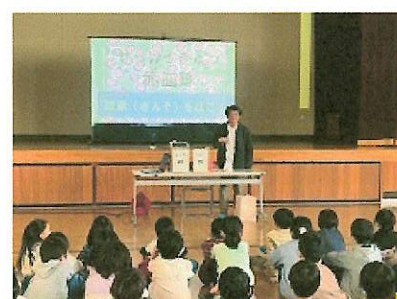
例えば「すべての子どもが、しっかり学ぶことのできる、公平で質の高い教育を無料で受け、小学校と中学校を卒業できるようにする。」等です。花園小学校でも、「学びを止めない・子どもたちの学びを保障する」等、研究教科を設け授業改善や、一人一台端末の活用で様々な学びに取り組んでいます。ご家庭でも2030年の世界で主役となって活躍しているお子さんと、「ごみを減らそう、分別しよう」「こまめに電気を消したり水を使いすぎたりしないようにしよう」等、ご家庭でできることを一緒に考えてみてはどうでしょうか。

今年度も残り1ヶ月となりました。学年末のまとめをしっかり行い、今の学年で身につけることはしっかり身につけ次の学年につなげていきたいと思っております。

また、道路は雪山が高い状態にあります。雪山には登らない、道路の横断は必ず左右確認するなど、事故防止に引き続きご協力をお願いします。

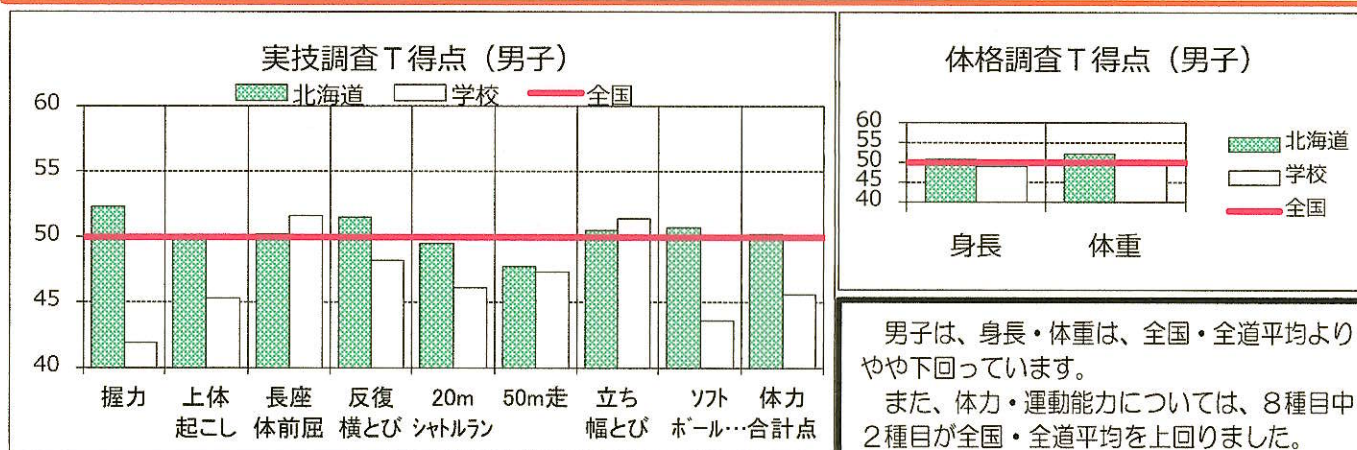
### 【いのちの日 集会 1月26日】

花園小学校は、毎年1月27日に、いのちの日の全校集会を行っています。今年も、校長講話の後、前PTA会長 深田氏を講師に迎え、低学年と高学年に分かれ、とても分かりやすく命を守る赤血球のお話をいただきました。

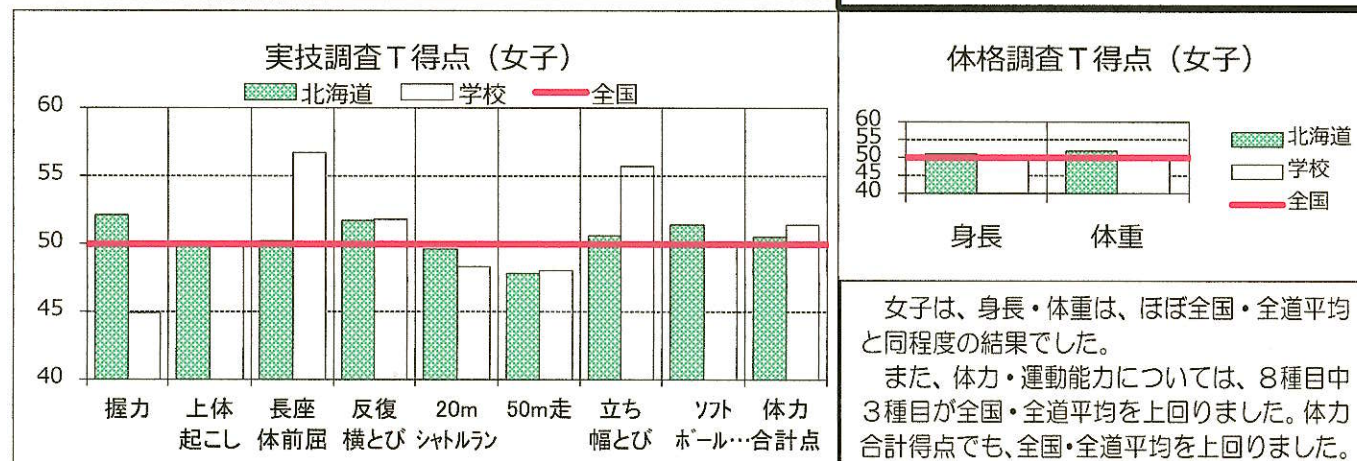


## 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果(5年生)

スポーツ庁より提供された「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果をもとに、そこから見える児童の状況についてお知らせします。



男子は、身長・体重は、全国・全道平均よりやや下回っています。また、体力・運動能力については、8種目中2種目が全国・全道平均を上回りました。



女子は、身長・体重は、ほぼ全国・全道平均と同程度の結果でした。また、体力・運動能力については、8種目中3種目が全国・全道平均を上回りました。体力合計得点でも、全国・全道平均を上回りました。

### 【体力向上について】



本校の昨年度と今年度の平均記録を比較して改善された種目の数を下の表に示します。2年生女子、4年生男子、5年生女子は8種目中7種目の改善が見られ、花小サーキットや子供たち同士の励まし合いなど、成長が見られました。ご家庭でも、お子さんを支え、できたことや頑張っている姿を励ましてほしいと思います。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
男子	2	3	2	7	2	4
女子	3	7	4	3	7	5

雑巾の寄贈がありました。地域の民生委員の星野さんから雑巾をいただきました。ありがとうございます。大掃除で使わせていただきます。



## 後期・保護者アンケートの結果

後期もアンケートのご協力ありがとうございました。今回は、前期のアンケート結果と比べての結果をお知らせします。

○前期と後期を比較して、後期の方が肯定的回答(そう思う・だいたいそう思う)の割合が高くなったのは、11項目中6項目(以下参照)でした。

- <身についている割合が高くなった項目>
- 「学校生活が楽しい」(94.4%→95.1%)
  - 「基礎的な学力」(82.3%→84.5%)
  - 「読書をする習慣」(42.7%→46.3%)
  - 「挨拶や言葉遣い」(87.9%→91.9%)
  - 「学習習慣」(65.3%→70.7%)
  - 「情報発信」(95.9%→97.6%)

●同様に後期の方が肯定的回答(そう思う・だいたいそう思う)の割合が低くなったのは、11項目中4項目(以下参照)でした。(※残りの1項目は、同程度)→「よさや頑張りを認めてくれる」(95.1%)

- <身についている割合が低くなった項目>
- 「運動の習慣」(66.9%→65.0%)
  - 「わかりやすい授業」(93.5%→91.9%)
  - 「ルールを守って行動」(90.3%→89.4%)
  - 「安全確保・健康管理」(96.8%→94.3%)